

エチオピアの民族舞踊

—舞踊団の出現と指導法の変化—

立命館大学大学院 池田章子

1. はじめに

本研究は、アフリカの人々の生活と民族舞踊の関わりを研究し、民族舞踊の意味を明らかにすることを目的としている。研究対象には1991年に社会主義が崩壊するまで調査が困難であったエチオピアの民族舞踊をとりあげ、さらに現代のダンスと共通した特徴を持つグラゲ民族（以下グラゲ）のダンスを考察した。フィールドワークは、1997年8月14日～9月19日（予備調査：アディスアババなど）、1999年7月23日～8月28日（本調査：デセナ村など）の予定で実施した。

2. グラゲ概観

2-1 地理・気候・植生

グラゲ民族（以下グラゲ）の定住している地域は、北緯7度～8度、東経37度～38度に位置し、海拔2000m以上の高地である。緑豊かで、鉱物資源に恵まれている。雨期と乾期があり、乾燥地域と準乾燥地域に区別されている。

2-2 言語・宗教・社会

グラゲの言語はエチオ・セム系に分類され、宗教はエチオピア正教、イスラム教、民俗宗教などに分かれている。慣習法による民主的な社会自治を行ってきたが、現在では行政による政治も行われている。

2-3 生業

農業を中心としてエンセーテ（学名：Ensete Ventricosum [Welw.] E.E. Cheesm）、穀物、油種、野菜類などを栽培している。多くの家庭で牛、鶏、羊などの家畜を飼っている。換金作物としてはチャット、コーヒーの栽培があげられる。その他、都市ではホテル経営や商売などが主になっている。

3. グラゲのダンス

グラゲのダンスはエチオピアで最も足をよく使うダンスである。ひざを胸に付けるように高く蹴り上げて体を前傾させて踊ったり、足のリズムに合わせて顔に水をかけるように手を叩きながら踊る。独特な手拍子や喉声の特徴であり、歌や太鼓にあわせて踊られる。グラゲのダンスは大きく二つに分かれている。最初のゆっくりしたダンスでは呼吸形式の歌に合わせて体を左右にねじりながら揺らして小さなジャンプを中心に踊る。10～20分すると体全体を使って踊る速いダンスに変化し、この激しい動きは30秒～1分続けられる。一般的にダンスは人に囲まれた狭いスペースで踊られ、老若男女の区別がない。ソリストは2～3人で、踊

り疲れると新しいダンサーに替わる。2人以上で踊るときは、相手の動きに自分の動きを加えて新しい動きをつくりだしていく。

グラゲ民族のダンス一例

分類	行事の名称	ダンスの名前
祭事	クリスマス（1月）	Abeto(アベト)、Raho(ラホ)、Ayelega(アエログ)
	雷神ヌボアの祝祭（7月）	Yojicha(ヨージチヤ)
	聖ギオルギス祝祭（毎月）	Gorgisabo(ゴルギスアボ)
人生の節目	結婚	Mercamo(メルカモ)・Hirogabo(ヒロガボ)
突発的	英雄に捧げる歌	Wiake(ワイアケ)・Badora(バドラ)
総合的 祝祭、日常全般	新十字架発見の祭(9月)、 新年の祝祭(9月)、誕生の 祝い、見合いなど	Nekou(ネコウ)、Enzore(エンゾレ) Yaberysele(ヤベリセレ)、Yahore(ヤホレ) Shigoshigore(シゴシゴレ) Raleyebotale(レイエボタレ)

1999年8月デセナ村聞き取り調査より作成

4. まとめ

今回の調査では農作業を中心に生活動作の参与観察を行ったが、その結果グラゲは生活動作でも足をよく使うことが明らかになった。中でもエンセーテの葉から繊維質の部分を取り出す動作は、ダンスの動きに非常によく似ていた。立てかけた一枚の板の上に葉を置き、胸のあたりまで持ち上げた片足でそれを押さえ、竹のヘラを使って葉肉をしごき落とす。これは削った葉肉を主食の一部とするため、穀物を脱穀する動きとも解釈される。この足をを使う脱穀作業は、植物生殖質研究者の重田真義がアリ民族はエンセーテの葉を葉柄のひもで押さえ脱穀作業を行うと記述している点から、グラゲ特有の動作であると指摘できる。グラゲのダンスの特徴にエチオピアの著名なダンス研究者Tivor Vadasyは、リズムカルな喉声を指摘している。しかしこのリズムカルな喉声もダンスに限らず興奮した時や意思表示など、日常生活のあらゆる場で観察された。また調査からその喉声を合わせることは仲間意識の象徴であり、神への祈りだと考えられていることが分かった。さらに実際に彼らの生活を体験すると、喉声や呼吸を合わせることからダンスが始まるのが分かり、そのリズムから自然と体の動きすなわちダンスがつくりだされているように感じられた。

このようにグラゲのダンスの動きは、彼らの生活動作の特徴と密着しており、長い歴史の中で培われた身体技法と表現様式であると認識される。そして急進的に近代化が進められるエチオピアの社会で、グラゲのダンスは生活の一部としての社会的機能を保持している生活文化であった。今後はTivorがババシノーテーションで記譜した足に関するグラゲダンスの動きの資料やマルチアングル撮影VTR、モーションキャプチャーなどを使いこの動きの解析を行い、グラゲの身体性を考察すると共に、さらに深化した社会的機能を見いだしていきたいと考えている。